

授業科目名 (英訳)	情報技術と社会 Information and Technology and Society					担当者所属 職名・氏名	情報学研究科 教授 吉川 正俊 情報学研究科 教授 田中 克己 情報学研究科 教授 石田 亨 情報学研究科 教授 守屋 和幸 情報学研究科 教授 大手 信人 情報学研究科 特定准教授 JATOWT Adam Wladyslaw (英語講義担当)					
	配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期		H27 前期	曜時間	水/2	授業形態	講義	使用言語
【授業の概要・目的】												
<p>情報政策、情報と法制度、情報と経済、情報倫理、情報と教育など、情報技術の社会へのインパクトや社会との関わりについて講述する。これにより、受講者は、情報技術の歴史と動向、情報化社会の問題点、情報技術による社会革命、プライバシーとセキュリティ、情報政策、知的財産権、専門家の倫理と責任など、情報技術と社会とのかかわりについて、教員及び受講者との討論を交えながら、多角的に学習する。</p>												
【到達目標】												
<p>情報政策、情報と法制度、情報と経済、情報倫理、情報と教育などに関して、情報技術の歴史と動向、情報化社会の問題点、情報技術による社会革命、プライバシーとセキュリティ、情報政策、知的財産権、専門家の倫理と責任など、情報技術と社会とのかかわりについて十分な知識を獲得する。</p>												
【授業計画と内容】												
<p>情報と教育（3回、講義）：吉川 情報倫理（3回、講義）：石田 情報と経済（3回、講義）：守屋 情報と法（3回、講義）：石田 情報政策（3回、講義）：田中</p>												
【履修要件】												
【成績評価の方法・観点及び達成度】												
<p>期末試験により評価する。教員によっては、平常点評価、レポートを併用する。情報政策、情報と法、情報と経済、情報倫理、情報と教育の項目ごとに20点満点とし、合計100点満点の素点で評価する。情報技術の歴史と動向、情報化社会の問題点、情報技術による社会革命、プライバシーとセキュリティ、情報政策、知的財産権、専門家の倫理と責任など、情報技術と社会とのかかわりについて十分な知識を獲得しているかどうかを期末試験などで評価する。</p>												
【教科書】												
京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻『情報社会論』												
【参考書等】												
永田隅蔵 編『知的財産と技術経営』（MOTテキストシリーズ）												
【授業外学習（予習・復習）等】												
授業前に教科書を用いた予習をしておくことが望ましい。												

[その他 (オフィスアワー等)]

前期毎週火曜日 4 時限(14 : 45 ~ 16 : 15)。その他、個別の質問・指導を希望する場合は担当教員に事前にメールにて日時調整を行うこと。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASIS で確認してください。

メールアドレス :

田中 克己	tanaka@dl.kuis.kyoto-u.ac.jp
吉川 正俊	yoshikawa@i.kyoto-u.ac.jp
石田 亨	ishida@i.kyoto-u.ac.jp
守屋 和幸	moriya@bre.soc.i.kyoto-u.ac.jp
大手 信人	nobu@bre.soc.i.kyoto-u.ac.jp
Adam Jatowt	adam@dl.kuis.kyoto-u.ac.jp